

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	乳幼児教育支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	公民館		包含する細々目	1	10	5	4	11	2	2,200
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	21 乳幼児教育の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条列等	新すくすくプラン						
		事業期間	18	年度～		23	年度					

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	入園前の乳幼児とその親	未就園の乳幼児の数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			3065				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	子育てについての親の悩みが解消されるよう、交流や学習の場が提供される。子供が、その発達段階に応じて健全な育ちができる。	乳幼児学級に参加した親子の組数	18目標	1020	最終目標		
			18実績	1039	19目標	1100	↑
			23目標	1100	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	0歳児から幼保育園入園前の乳幼児をもつ親と子供の継続的な学級の開設と、子育てサークルの支援事業	仲間づくりを通じて子育ての不安を解消するとともに、親として育児に関する知識・心構えを習得する学習活動を展開する。全館で実施	講座開催回数	712回
	18年度の実績			
	19年度計画	仲間づくりを通じて子育ての不安を解消するとともに、親として育児に関する知識・心構えを習得する学習活動を展開する。特に子供の発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得に関わるプログラムを重点に取り組む。全館で実施	講座開催回数	720回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	2,016	2,200
事業費計(A)	2,016	2,200	
人件費	正規職員所要時間	18年度 2,420	19年度 2,420
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	8,654	8,654
	トータルコストA+B	10,670	10,854

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	子供が、その発達段階に応じた健全な育ちができる。	就学までに基本的な生活習慣の習得できた子供の割合	現状値	58.7	19実績		
			20実績		21実績		
			22実績		23目標	65	
			現状値		19実績		
			20実績		21実績		
22実績				23目標			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
子育てに悩む親が多く、地域で子どもが健全に育つ環境を整備することが必要となっているため。 また、公民館で行っている子育てネットワーク支援事業を平成18年度から統合して実施する。	幼児虐待、核家族化等、子育ての不安感が増大している。また、地域とつながりのない親子が増えている。 H18年度に行った小学生の生活アンケート結果では、基本的な生活習慣が習得できていない子供の割合は小学生全体で約4割近くあり、非常に大きな課題となっている。	子育て支援策の充実を求める議会の質問が多い。乳幼児学級への参加希望者が増えている。

## 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	・家庭における基本的な生活習慣の習得にかかる教育プログラムの実施 ・若い親と、子育て経験者との交流の機会をつくる。 ・0歳児学級の開設を増やす。 ・子育ての悩み解消には子育ての知識だけでなく、女性の心理、自立などの講座開設を並行して検討する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	乳幼児教育プログラムの改善 乳幼児学級の増設

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	・成果指標は「乳幼児学級に参加した親子の組数」であるが、成果は参加率で判断するべきではないか。 ・講座に参加しない(できない)人の意見を聴取し、開催時間や回数などについて具体的な改善策を検討すべき。